

令和8年9月24日

応用生態工学会第29回大会 優秀ポスター発表賞一覧

応用生態工学会

応用生態工学会 第29回大会（東京大会）のポスター発表（令和8年9月24日）において、下記の発表が優秀ポスター発表賞に選ばれました。おめでとうございます。

【最優秀ポスター発表賞】計2件

- P-43 干潟再生における物理環境と生物応答の関係に関する評価・検証
※難波 広樹（日本工営株式会社）、五十嵐 美穂（日本工営株式会社）、左右田 結香（日本工営株式会社）、清水 隆博（日本工営株式会社）、渡邊 健人（日本工営株式会社）
- P-112 ダム湖における魚類分布の季節・時間変化について
※長岡 祥平（北海道大学大学院 環境科学院）、南 憲吏（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）、宮下 和士（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）

【優秀ポスター発表賞】計8件

- P-3 緑地保全方針の策定に向けた樹林ネットワーク評価の妥当性検証：鳥類多様性をケーススタディとして
※後藤 颯太（株式会社建設技術研究所）、渡邊 敬史（株式会社建設技術研究所）、岩本 英之（株式会社建設技術研究所）、山崎 久美子（千葉市）、平賀 康裕（千葉市）、志村 佳貞（千葉市）
- P-26 耕作放棄水田での掘り下げによる微地形操作が植物の発芽・定着過程に及ぼす影響
※千葉 来紀（東京大学大学院）、田和 康太（東京大学大学院）、西廣 淳（国立環境研究所）

- P-38 ヒメドロムシの攪乱後レジリエンス：個体群動態・遺伝的動態と飛翔能力に基づく評価
※長野 光（九州大学大学院 生物資源環境科学府）、中島 淳（福岡県保健環境研究所）、鬼倉 徳雄（九州大学 農学研究院）
- P-48 機械学習による河川景観判読モデルの精度向上に向けた取り組み——データクレンジングが学習および精度評価に及ぼす影響——
※大嶋 悠也（国立研究開発法人 土木研究所）、田中 孝幸（国土交通省）
- P-58 生成 AI を活用した河川環境資料活用支援システムの開発と今後の河川環境データの整備に関する考察
※緒方 直人（西日本技術開発株式会社）池原 宏紀（西日本技術開発株式会社）、井原 高志（西日本技術開発株式会社）、吉田 健人（株式会社 Kiei）、桜井 竜佳（株式会社 Kiei）、齋藤 剛（西日本技術開発株式会社）
- P-66 マルチ環境トレーサーを活用した氾濫原水域の水文・水質環境の分類と一次消費者の炭素・窒素安定同位体比分布の関係性
※上羽 涼太郎（東京農工大学）、梅澤 有（東邦大学）、千賀 有希子（東邦大学）、藪崎 志穂（総合地球環境学）、由水 千景（総合地球環境学）、陀安 一郎（総合地球環境学）
- P-95 季節性に着目した DNA メタバーコーディングによる本栖湖に生息する レイクトラウトの食性解析
※齊藤 敢太（山梨大学工学部）、三浦 正之（山梨県水産技術センター）、加地 弘一（山梨県水産技術センター）、谷沢 弘将（山梨県水産技術センター）、小澤 諒（山梨県水産技術センター）、山本 祥一郎（国立研究開発法人水産研究・教育機構）、八重樫 咲子（山梨大学大学院総合研究部）
- P-103 河川横断方向の非類似性に着目した環境 DNA 採水地点の最適化に向けた検討
※柞磨 佑紀（国立研究開発法人土木研究所）、村岡 敬子（国立研究開発法人土木研究所）

以上